

鳥取県経済同友会西部地区 令和3年度事業計画

〔 自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日 〕

■ 基本方針並びに重点事業

新たな年度を皆さんと迎えられる事に感謝します。

人類の歴史は、ウイルスとの戦いと言われます。その都度、人類はそれを克服して今があると理解はしつつも、自分がその渦中に巻き込まれるとは思いませんでしたし、「WITH コロナ」の時代はしばらく続くと思わなければならないでしょう。

前年度までの各委員会の活動は、東京の経済同友会他でも大いに注目して頂き、又、高く評価して頂いています。具体的な委員会方針は別紙の通りとし、継続すべきものは継続しますが、新たな課題解決に向けた委員会も設置します。

WITH コロナのこの時代、念頭に置いたのは「変化への対応力」です。政治、経済、環境、価値観、技術等、世の中はどんどんスピードを上げて変化しています。それは地方に住む我々も同じです。これまで上手くやってきた事をやり続けるだけでは発展は有りえませんし、本当の意味でのこの地域創生の為にも会員一同が変化に対する危機感とそれを乗り越える何かを真剣に考える場になればと思います。

鳥取県経済同友会・西部地区の財産は各会員の皆さんです。

意識の高い会員の皆さんが、経済同友会の例会等を通じ更に成長して頂き、成長した皆さんが個々の会社を、そしてこの地域を発展させて、又、経済同友会を活性化して頂く、その循環が多方面より評価を頂いている源です。現状に満足する事も奢る事も無く、新年度も様々な委員会の活動や講演会を通じて、皆さんで更に成長できるようにしっかり活動を進めていきたいと思えます。

WITH コロナの制約はありますが、この時代をどう乗り切るか、そして将来にどう繋げるか共にしっかり議論し、行動に移しましょう。皆さんの引き続いてのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

〔各委員会方針〕

1. 鳥取県西部総合事務所と密接に連携し、鳥取県と歩調を合わせた方針の策定・検討
そのテーマ次第では、他委員会のバックアップ
2. 多様化する海外諸国、特にアジア圏の国々との連携の検討
3. 高等学校における講演会の実施と合わせ、県教委との連携による学校と経営者の交流活動の推進の実施
4. 過去5年間実施してきた関西学院大学・国際学部との連携を通じ、WITH/AFTER コロナ禍の観光戦略、特にインバウンド観光に付き提言の検討
5. 島根県と大山・宍道湖・中海圏域の更なる発展に向けた協議
6. 日野郡と西伯郡、農業と林業にスポットを当てその魅力の発信
7. 境港を代表する水産業・水産加工業にスポットを当てた活性化の検討
8. 前期2年間でSDGsに関する理解は相当深まったと考え、同友会として出来る事をSDGs 17項目の中より検討・実施
9. この地域の活性化の為に、少し柔らかい発想での取組の検討
10. ふるさと教育読本の有効活用の検討

■ 実施事業

1. 会議の開催
 - (1) 定時総会
 - (2) 例会
 - (3) 幹事会
 - (4) 監査会
 - (5) 総務委員会
 - (6) 鳥取県成長戦略検討委員会
 - (7) 国際経済委員会
 - (8) 教育委員会
 - (9) 観光戦略委員会
 - (10) 鳥取島根合同委員会
 - (11) 大山圏域活性化特別委員会
 - (12) 境港活性化特別委員会
 - (13) SDGs 推進特別委員会
 - (14) 地域交流特別委員会
 - (15) ふるさと教育特別委員会
2. 基本方針・重点事業の実現のための提言
3. 境港等交通インフラの総合的整備への運動
4. 山陰自動車道早期完成への運動